



鴨川市は、無作為に選ばれた市民が委員となる「小湊地域の活性化と学校跡地活用を考える100人会議（以下、100人会議）」を設け、日蓮聖人生誕の地である小湊地区の廃校になった中学校と、隣接している廃校予定の小学校の跡地活用を中心とした地域の活性化について、議論しています。（2018年3月～12月（予定））



「100人会議」は、構想日本が2014年からはじめた「住民協議会」の一つです。政治や行政と接点の少なかった市民が、地域の課題を「自分ごと」として考えるための取り組みです。全国で小中学校の統廃合が進められ、跡地活用は重要な課題です。市民が町を歩き、自分たちが中心となって活用策を考えるこの取り組みは、全国の自治体から注目されています。



亀田郁夫 鴨川市長

「会議の名称にもあるように、地域の活性化という視点から、学校の跡地活用の方策を、市民の皆様と検討していきたいと考えています。議論を受けて、具体的な活用策を決めたい。」



加藤秀樹 構想日本代表

「この会議のキーワードは『手作り』だと思う。自分で作ったものは、買ってきたものよりも愛着がある。町づくりも同じではないか。小中学校の跡地をどうするか、住民同士で議論することを通して、鴨川市の町づくりが『手作り』で行われていくための場づくりをしていきたい。」

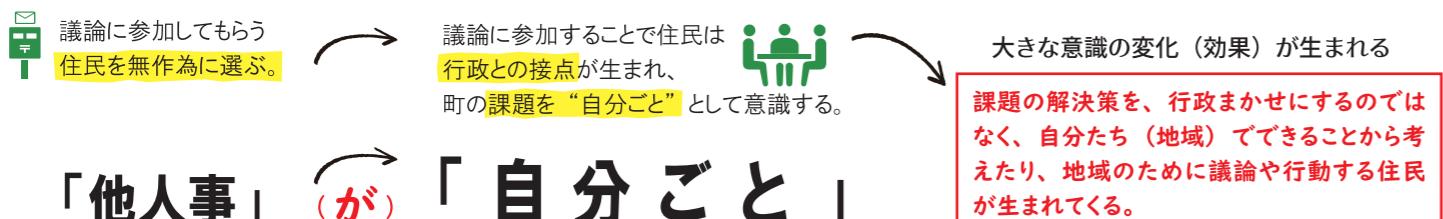
### 会議に参加した市民の発言

- Q 「誕生寺や日蓮聖人はもっと活かされるべきだと思う。そのためには、社寺の協力が不可欠であるとともに、魅力のあるストーリー作りが必要。」
- Q 「鴨川市には漁業組合が統一されていないという問題がある。漁業関係者が積極的に町づくりに携われる企画・方策が必要。」
- Q 「高齢者や子供が集まるコミュニティの場として、地域の人たちが使える機能も大事。」



無作為に選ばれた市民の中には高校生の姿も。

### 「住民協議会」とは



**summary**  
これまでに、  
**10自治体で13回実施**

様々なテーマで議論してきました！

- ゴミ行政のあり方
- 地域包括ケア
- 地域自治組織
- 子育て支援
- 防災
- 総合計画 / 戰略作成 etc...

### 構想日本の動き

#### 【自治体（職員、議員）との動き】 2018.03～2018.05

- (3/10) 福島県 飯館村「飯館村ふるさと住民票記者説明会」
- (4/8) (5/13) 神奈川県 伊勢原市住民協議会（全2回中 第1回／第2回）
- (4/22) (5/13) 千葉県 鴨川市100人委員会（全6回中 第2回／第3回）
- (5/7) (5/8) 和歌山県 海南市職員研修
- (5/30) 島根県 自分ごと化会議 in 松江 第1回実行委員会

発行  
構想日本  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町 2-9-2  
エスパリエ平河町3F  
電話：03-5275-5607  
FAX：03-5275-5617

2018.7  
vol.51  
NEWS

www.koshonippon.org  
www.facebook.com/koshonippon/  
https://twitter.com/koshonippon  
YouTube 構想日本

## YAHOO! 加藤と伊藤が参加しているのをご存知ですか！？

ニュース個人に  
— 加藤・伊藤が書いたヤフーニュース記事を一部改訂し、ご紹介します。—



加藤秀樹 yahoo

土俵上での女性の救命行為が議論を呼んだ。私には、女性が土俵に上ったことに対する批判の多くが、今の日本の随所で起こっていることを象徴することのように思えた。それは理念とか目的と、それを達成するためのきまりや方法との取り違えだ。

土俵を「神聖な場所」として、限られた人しか上れないというのは、それはそれでいいのではないかと思う。その土俵上で一人の人が生死の際にいる。それを、周りに大勢の人が居ながら手をこまねいているなら、それこそ神聖であるべき場所を穢す、神を畏れぬ行いだろう。

かりに、女性が土俵には上がれないという伝統を認めるとしよう。しかし、それは土俵を神聖なものとして敬うという理念とか、目的を達するためのきまりの一つだ。女性を土俵に上げないということが最終目的ではないはずだ。これが「取り違え」だ。

実はこの取り違えが、今の日本社会には大変多い。町づくりのため行政から補助金をもらうと、その使い方や報告書作成に縛られて、本来の目的の町づくりのことが十分できない。企業の不祥事の防止のための細かいルールを作り、大量の文書を作成しても不祥事はなくならない。森友・加計問題も同根だからルールを守っているふりばかりする。

土俵の上のあの出来事は、日本人が日々の行いを通して、目指すべきことと、そのための手段とをわきまえて行動せよという、相撲の神様の思し召しかもしれない。

(2018/4/20 投稿)

#### 【過去の注目記事】

- 2017/8/4 「自分ごと化会議」のすゝめ
- 2017/1/5 日本にトランプ現象は起こるか（後編）
- 2016/12/28 日本にトランプ現象は起こるか（前編）



伊藤伸 yahoo

人は前と後ろどちらから見るかで印象が異なるように、物事の景色は立場によって変わる。

私はもともと国會議員の秘書をしており政治の側にいた。政党的な会議で政府の取り組みのヒアリングなどの議論を聞いていると、なぜ議員の質問に役所側はしっかりと答弁しないのか、と腹立たしく思ったこともあった。しかし、官僚となり反対側に座ってみて感じたのは、質問の趣旨や意図がわからない質問が多いことだ（ただし、官僚も聞き返すことはせず「先生ご指摘の通り」などの枕詞を使って、わかったようなわからない答弁をすることも多い）。

時には質問をして官僚が答弁をする前に質問をした議員本人が退席してしまうこともあった。他の予定もあり中座せざるを得なかつたのだと思うが、ならば質問をした理由がわからないし、「この案件について質問をした」という事実だけがほしかった（例えば関係団体に対してのアリバイ作りなど）のではないかと邪推すらしてしまう。

自分が見ている景色だけがすべてと思ってはいけない。反対側からの景色も想像したうえで判断する。そこから本質が見えてくるものだと思う。

(2018/7/13 投稿)

#### 【過去の注目記事】

- 2017/4/13 「公助の限界。自分の身は自分で守るという教訓」  
—伊藤が行く災害の現場：熊本県益城町
- 2016/7/10 「1票のコストが500円」を肝に銘じる。

#### YAHOO! ニュース個人とは？

「Yahoo! ニュース個人」に書き手（=オーサー）として加藤と伊藤が参加しています。約500名の幅広いジャンルの専門家が記事を投稿しており、専門性を持つ書き手ならではの解説や分析、ニュースの裏側や背景を世の中に伝え、ニュースに対するユーザーの理解を深めてもらうコンテンツです。専門家だからこそ発見できる社会課題の提起、そして課題解決につながる場を目指しているのが、「Yahoo! ニュース個人」です。

立場も、世代も超えて!!

# 構想日本に寄せられる期待に応えます!!



構想日本は政治・行政にとどまらず、世直しを目指す団体だ。正直言って、こんなドンキホーテのような活動が20年よく続いたと思う。酒も20年寝かせると十分飲み頃だ。そろそろ世直し樽の栓を抜いてうまい酒を飲みたい。志のある人に大いに飲んでもらって、日本に溜まった濁や世の中を覆っている蓋を思いきり吹き飛ばしてほしい。



私は現在営利企業を経営しておりますが、世の中には企業だけでは解決できない問題は多くあります。私もいくつかのプロジェクトをご一緒させていただきましたが、構想日本はそういった利益がでなくても重要なことをやるために箱であつて欲しいなと思っています。これからも構想日本の活動に期待しております。



「住民協議会」に参加し意識が変わり行動を起こす大切さに気づいた住民の一人です。何気ない日常の中に政治は絡んでいることを知り、私たちが住む町の課題を、自分ごとと受け止め解決を目指し一人ひとりが町に心を持つことが大切だと思う様になりました。誰もが自分らしく暮らせる社会づくりの為の改革を期待しています。



加古川市では、構想日本の皆さんと、本市の既存事業について公開の場で議論をするという取組を4年間続けてまいりました。何事にも「協働」というコンセプトが欠かせない今、構想日本の諸取組が、一人でも多くの市民が政治や行政に関心を持ち、地域課題の解決へ向けて主体的に行動するきっかけとなることを期待しています。



構想日本ほど広範囲で色々な人に支えられているシンクタンクは日本はないと思います。だからこそ構想日本にはタブーがありません。私も構想日本に頼まれると大概お引き受けしますが、現場力と本質を捉える視点は、外務大臣としても大変参考になります。このようなシンクタンクが活躍することは、これからの日本にとってますます大切になります！

五人の方から熱いメッセージを頂きました。心から御礼申し上げます。  
みなさん立場も世代も異なりますが、それぞれの領域のリーダーであり、構想日本発足当初から支援して頂いたり、一緒に仕事をしたりしてきた方々です。「重要なことをやるために箱」「そろそろ栓を抜け」「タブーなし」「主体的に行動するきっかけ」「自分ごと」。これらの言葉に大いに励まされると同時に、構想日本が果たすべき役目や可能性をあらためて思い、スタッフ一同心を引き締めています。先頃の株価急落は、金融市場と世界経済の不安定さを示しています。日本の経済も政治もこれから大きく動かざるを得ないでしょう。すぐに“栓を抜ける”よう、そして頂いた言葉に応えられるよう、常に用意を怠らないようにしたいと思います。



構想日本 代表 加藤秀樹

## 政府への政策の提言・実現活動

### 46 実現 / 65 提言 = 実現率 7割!

20年間で65の政策提言を行ってきました。法改正や閣議決定に繋がったものが46あります。7割の打率はナカナカと自負していますが、いかがでしょうか。

- ★ 省庁設置法改正
- ★ 政府事業仕分けによる予算への反映
- ★ 公益法人制度の改革
- ★ 毎年の行政事業レビュー実施の閣議決定

## 「現場力」の結集が政策の実現をもたらす

### 【政府に定着した事業仕分けの効果】



#### Quality

- 「仕分けによって予算を執行するにあたって官僚に緊張感が出た。その意味で霞が関の文化を変えた。」(経産省課長)
- 予算編成の透明化による国民の納得度の向上(当時の世論調査では「事業仕分けを継続して実施すべき」が8割以上)。

### 【地方自治体に蓄積する事業仕分けの効果】



#### Quality

- 住民の政治・行政の「自分ごと化」
  - 無作為で選ばれた住民の、仕分けに参加する前と後の意識の違いが顕著。
  - 仕分けに参加した住民の多くは、これまで行政に関わりを持っていなかった人。
- 国のコントロールのあぶり出し
- 事業のやり方の見直し
- 公務員の意識改革

### 【無作為に選ばれた市民による議論 = 「民主主義の原点に帰る」】

政治・行政との対話を経た「自分ごと化」は、ポピュリズムに対する抵抗力も持つ。  
市民と政治・行政の新たな関係を築き、日本を世界有数の民主主義国にしていきます。

- ◎ 住民に送った事業仕分け / 住民協議会の参加依頼状の総数 17万通
- ◎ 事業仕分け / 住民協議会に参加した住民の数 8000人

日本の現場には、チカラがあります。医療、教育、町づくり、産業、農業などの「現場」には、随所にやる気、知恵、工夫、チカラがあふれています。この「現場のチカラ」を結集することで、日本をもっと素晴らしい国へ変えていく。これが私たち「構想日本」のめざすものです。

## あなたのチカラをかけてください。

『構想日本』に直接知恵や経験、時間をご提供いただく他、「会員になる」「寄付をする」ことでご参加、ご支援ください。

### 会員になる

構想日本の運営費は、主に会員の皆様からの会費で賄われています。是非、会員になって、サポートしてください!

会員種別	個人会員	学生会員	法人会員A	法人会員B	法人会員C
入会金	2千円 <small>[WEB申請いただけます]</small>	2千円 <small>[不要となります]</small>	30万円	30万円	5万円
年会費	1万円	2千円	300万円	50万円	10万円

\*ご入金の際はお手数ですが、電話、メール、ファックスにてお知らせ下さい。

### 寄付をする

会費同様、構想日本の運営費として活用します。また、特定のプロジェクトのための寄付も受け付けています。なお、「公益財団法人 信頼資本財団」を経由して寄付をいただくと、税制上の優遇を受けられます。

【公益財団法人信頼資本財団 WEB 内の構想日本紹介ページはこちら】  
<https://congrant.com/project/shinrai/436>



## 政治・行政の現場からの改革活動

★ 事業仕分け・住民協議会の実施自治体数

123 自治体

★ 事業仕分け・住民協議会の実施回数

248 回

★ 関係のある自治体数

約 710 自治体

★ 仕分けた事業数 (自治体)

約 5500 事業

★ 仕分けた事業数 (国)

約 1000 事業

(数値は2018年3月時点)

## 社会変革の実践者との連携

### 構想日本の最大の強みである

幅広い人脈を活用しています。

構想日本には20年間“現場の声”を拾ってきました。

その成果は教育、医療、行政などの幅広い分野へ人脈を形成し、現場の人たちだからこそ意見・情報交換・活用することができます。その活動をサポートし、また政策や制度に反映させています。

## 住民協議会 / 事業仕分けを詳しく知りたい方へ

構想日本へご連絡をください! 様々な自治体での事例も含めて、ご説明いたします。

JAPAN INITIATIVE 担当: 伊藤 / 田中 / 永田 まで  
構想日本 TEL: 03-5275-5607  
E-MAIL: info@kosonippon.org